

第19回JPHMA
コンGRESS

松尾会長、糖尿病の治癒のケースから
ZENメソッドの可能性

婦人病の症状が改善

具体的な対処法を紹介

インナーチャイルドの重要性も

第19回JPHMAコンGRESSで症例発表する方々を3面の続きで紹介するが、注目は松尾敬子大会長の症例発表。糖尿病患者が6人のひとりと言われぐら増え続けている我が国日本。改善への話を松尾大会長が行う。注目の発表だ。



松尾 敬子 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)会長
JPHMA認定ホメオパスNo.0153

「複数の糖尿病の治癒のケースから分かるZENメソッドの可能性」
現代の日本では、食生活の悪さ、ストレス、運動不足等の原因により、約1,000万人(人口の



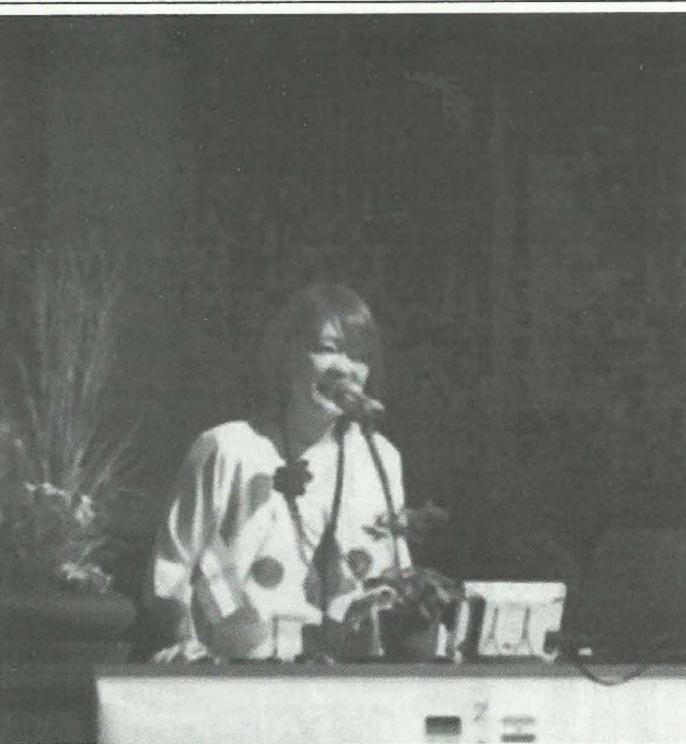
小林 智美 JPHMA認定ホメオパスNo.0984
JPHF認定インナーチャイルドセラピストNo.0169

「子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染症状が改善したケース」
「HPV(ヒトパピローマウイルス)」感染症と診断されたクライアーンが、4回の健康相談の後、感染レベルが「正常値問題なし」と診断され、改善したケースを発表していただきます。



橋本 孝子 JPHMA認定ホメオパスNo.0906
日本ホメオパシーセンター仙台錦が丘

「鍼灸とホメオパシーの併用によって、子宮頸がんワクチン接種以来の体調不良から解放されたケース」
現在世に出ている様々な療法はそれぞれに得意分野があると思えます。そしてその得意分野で補完し合い、クライアーンとインナーチャイルド癒しの併用によって心身が改善し絶



全国のホメオパスが大活躍、今回も大勢の方が発表、ポスター発表も数多くのホメオパスが発表する!!

「子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染症状が改善したケース」
「HPV(ヒトパピローマウイルス)」感染症と診断されたクライアーンが、4回の健康相談の後、感染レベルが「正常値問題なし」と診断され、改善したケースを発表していただきます。

「鍼灸とホメオパシーの併用によって、子宮頸がんワクチン接種以来の体調不良から解放されたケース」
現在世に出ている様々な療法はそれぞれに得意分野があると思えます。そしてその得意分野で補完し合い、クライアーンとインナーチャイルド癒しの併用によって心身が改善し絶

「同じような苦しみを抱える方の助けになれるなら、こんなに嬉しいことはありません」と言っているクライアーンさん。発表を快諾くださったクライアーンさんともども、本ケースがわづかながらでも誰かに希望をもたらす一灯となり参考となれば幸いです。

「同じような苦しみを抱える方の助けになれるなら、こんなに嬉しいことはありません」と言っているクライアーンさん。発表を快諾くださったクライアーンさんともども、本ケースがわづかながらでも誰かに希望をもたらす一灯となり参考となれば幸いです。

疑いを持たれています。このたびは、これまでコンGRESS等で報告して参りました複数の糖尿病の対応症例の内容を包括的に整理・検討し、そ



「ホメオパシーとインナーチャイルド癒しによる糖尿病の治癒」
「ZENメソッド」

「ZENメソッド」
「ZENメソッド」によるホメオパシーとインナーチャイルド癒しのワークを併用することの重要性を示す一例ですが、同時に、好転反応で揺れるクライアーンさんを支えるために、好転反応に必要な排泄の実現をサポートするホメオパス側のあり方についても、私自身の得た学びをシェアさせていただきます。

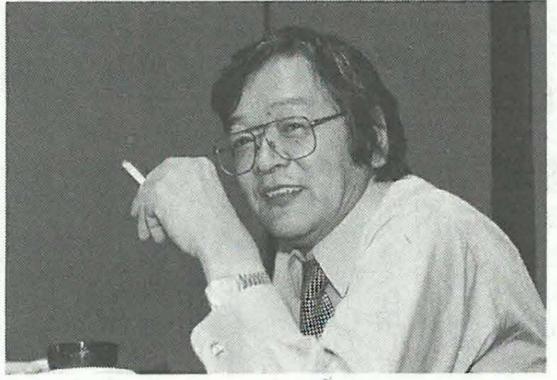
「ZENメソッド」によるホメオパシーとインナーチャイルド癒しのワークを併用することの重要性を示す一例ですが、同時に、好転反応で揺れるクライアーンさんを支えるために、好転反応に必要な排泄の実現をサポートするホメオパス側のあり方についても、私自身の得た学びをシェアさせていただきます。

「ZENメソッド」によるホメオパシーとインナーチャイルド癒しのワークを併用することの重要性を示す一例ですが、同時に、好転反応で揺れるクライアーンさんを支えるために、好転反応に必要な排泄の実現をサポートするホメオパス側のあり方についても、私自身の得た学びをシェアさせていただきます。

「ZENメソッド」によるホメオパシーとインナーチャイルド癒しのワークを併用することの重要性を示す一例ですが、同時に、好転反応で揺れるクライアーンさんを支えるために、好転反応に必要な排泄の実現をサポートするホメオパス側のあり方についても、私自身の得た学びをシェアさせていただきます。

「ZENメソッド」によるホメオパシーとインナーチャイルド癒しのワークを併用することの重要性を示す一例ですが、同時に、好転反応で揺れるクライアーンさんを支えるために、好転反応に必要な排泄の実現をサポートするホメオパス側のあり方についても、私自身の得た学びをシェアさせていただきます。

年間3000円の環境農業新聞を応援してください



農業関係のマスコミに40数年の経験を生かして皆様にお役に立てればと思い、新聞発行を続けております。
儲かる農業を実現しなければ若者が農業を継がないという現象がモロに出てきます。儲かる農業を実現させよう目論んだ6次産業化。誰のための6次化なのか。関連企業が儲けて農家はどうなんだ。これからも儲かる農業実現に向かってやっています。パッシングされたり、理不尽なことで悩む人々のためにもこれからも頑張っていきます。私に出来ることならなんでもご相談に乗ります。ご気楽に声をおかけ下さい。
FAX 03(3826)5217
環境農業新聞社
代表取締役 成瀬一夫
是非、年間3000円ですので、購読のお申込みをお願いします。